



御輿来海岸（熊本地区会 甲斐 正信）提供

低気圧・高気圧

秋の夜空を眺めていると、たまに流れ星を見つけるのですが、願い事が咄嗟に出てこないで見過ごしてしまいます。若い時は、そうでもなかったと思い起こします。今日この頃、夜空を見ると流れ星よりも宇宙を空想する天文学者気取りで想像の世界に浸っています。

さて、そんな時「はやぶさⅡ」が小惑星の「リュウグウ」から試料採取した事を思いました。そして、「はやぶさⅡ」の計画の成功により生命の起源について新たな知見をもたらす可能性があるようです。

つい先日、ある会の先輩から雑談の中で聞いた話を紹介します。

『まず、自然界の中で海の波の運動が1分間に18回行われていて、その18回という数を2倍すると36という数になり、その数は人間の体温の36℃になるとの事です。そして、その36の数を2倍にすれば72という数になります。その数は人間の1分間に心臓の拍動に伴って起きる脈拍数72を意味するとの事です。次にその72という数を2倍すれば144という数になります。これは人間の血圧数であるそうです。さらに、この144を2倍すれば288となります。この数字は人間の女性が妊娠してから出産までの期間との事でした。』

このように話を聞いている時は、なる程と関心して聞き入っていました。さらに、数は偶然にも当てはまり、あたかも自然界や宇宙の理論に因果関係があるかも知れないと錯覚しました。ところが、すべての数の単位が同じではないと疑問が生じました。まだまだ未知の世界が多いこんにち、「はやぶさⅡ」の無事帰還を祈り秋の夜長を過ごすことにしましょう。
(筑後地区会 園田 嘉生)

宇土市御輿来海岸は、波がひくと砂浜に三日月型の砂紋が扇を広げたように広がります。2月になると茜色の夕陽と重なり砂紋がオレンジ色に染まります。

contents

第44回定期総会	2
記念講演会	4
システム委員会だより	16
会員のひろば	18
偏西風・編集後記	
全国統一研修会の報告	23

第44回 九州ミロク会計人会 定期総会

ご挨拶

九州ミロク会計人会
会長 大久保昌逸



皆様、こんにちは。本日は台風の影響でこのように足元の悪い中、九州各地から大分まで来ていただきまして本当にありがとうございます。10年ぶりの大分での総会でございます。この準備のために昨年の総会の直後から地区会長の赤川先生にご尽力いただきまして、地元の先生方やMJSの方々にもご苦勞をおかけしました。本当にありがとうございます。お蔭さまでこんな立派な会場で総会ができます。

さて最近の皆さんの地元での景気はいかがでしょうか。どこも同様かとは思いますが私の地元の北九州では全ての業種で人材不足が叫ばれています。「仕事はあるけど、技術者がいないので仕事が受けられない」、「経理会計を任せられる人がいない」など、

経営者の悩みは同じです。そういうところで我々にはできることは、例えばクラウドを活用して人員不足に耐えるようにしていくことなどでしょう。これについてはMJSの方々もほんとうに頑張ってくれていますので、もう少しの辛抱だと思っています。

それともうひとつ、全国統一研修会の件ですが、今年は函館で10月17日に行われます。これには九州会から沢山の会員が参加してほしいです。なぜなら、来年の2020年全国統一研修会を当九州ミロク会計人会が担当することになっています。ミロク会計人会連合会から正式に委嘱状もいただいております。会場については熊本地区会の先生方に、うちでやるよと言っていただきましたので大変ありがたく思っております。先ほど挨拶していただいた熊本地区会の宮本地区会長さんには既に来年の大会の実行委員長をお願いしており、この9月から実行委員会がスタートできることになっております。来年の総会は、今年の函館大会に出席することから始まると考えていますのでどうぞよろしくお願いします。

総会

令和元年7月19日（金）第44回九州ミロク会計人会定期総会が大分市のレンブラントホテル大分において開催されました。

総会は東総務委員長の司会により始まり、まず物故会員の氏名が報告され、黙祷をささげてご冥福をお祈りしました。来賓の紹介が行われ、宮本副会長の開会の辞、大久保会長の挨拶の後、議長選出に入り大分地区会の宮崎会員が選ばれました。議事録署名人には泉会員と衛藤会員が指名され、議案の審議に入りました。

議案1 平成30年度事業報告及び承認について

議案2 平成30年度決算報告及び承認について

東総務委員長及び古賀財務委員長から事業報告及び決算報告について説明があり、甲斐監事が監査報告を行いました。審議の結果承認されました。

議案3 平成31年度事業計画及び予算案承認について



東総務委員長及び古賀財務委員長が事業計画及び予算案を詳しく説明し、審議の結果承認されました。

議案4 新任理事の選任について

東総務委員長が鹿児島地区会から新しく佐藤哲郎会員を理事に選任したいと推薦があった旨を説明しました。審議の結果承認されました。

以上をもってすべての審議が終了しました。

続いて来賓の東秀優南九州税理士会会長、武部道孝九州北部税理士会会長、是枝周樹株式会社ミロク情報サービス代表取締役社長より祝辞が述べられ、片山副会長の閉会の辞により総会は無事終了しました。



講演会



懇親会での変面ショー

一瞬に面が変わるたびに
驚きの歓声が上がりました

ゴルフコンペ

台風5号にリベンジ

前日の定期総会は大雨、当日の午前中は雨、午後から曇りの天気予報…。朝ホテルを出る時は小雨模様で、`台風5号も大したことないね!。と冗談を交わしながらゴルフ場へ出発しました。

7月20日(土)九州ミロク会計人会親睦ゴルフの報告です。

大分東急ゴルフクラブ到着と同時に降り出した雨は、スタート時刻になっても降り止まず、意を決して8時45分第一組としてスタートしました。しかし、傘は役に立たないほどのドシャ降り、グリーンはまさにプールと化し、フルスイングのパットも、ボールは50cmでストップという始末。止む無く、第一組の2ホール途中でプレー中止の宣告と相成りました。

このゴルフコンペは、とにかく天変地異に出くわす機会が多いコンペです。ある年は、皆既日食当日と重なり、真昼というのに薄暗い不気味な空の下でプレーしたこともありました。また、ある年はこの

講演会

定期総会に先立ち記念講演会が開催されました。講師に鷹島屋神社宮司矢野大和氏をお迎えし「笑門来福 生涯現役の勧め」と題して講演をしていただきました。

(記念講演会詳細は4ページ以下)

懇親会

定期総会終了後、多数の来賓をお迎えして盛大に懇親会が開催されました。

司会は佐藤福利厚生委員長で、大久保会長の挨拶の後、来賓紹介が行われ、株式会社ミロク情報サービスの由井俊光専務取締役の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

久しぶりの大分での開催ということで多くの会員に参加していただき、今年もにぎやかな懇親会となりました。地元のマジックバーの方による変面ショーのアトラクションやホテル自慢の美味しい料理とお酒で話もはずみました。

最後に赤川副会長の万歳三唱でお開きとなり、本日のすべての行事が終了しました。大分地区会の皆様大変お世話になりました。

(福岡地区会 空閑 秀樹)



日と同じく大雨のため、高速道路は通行止めとなり泣く泣く退散と思いきや後日談は、その後ゴルフ場はカラリと晴れ上がり、先着グループは残念会を兼ねてラウンドされたとか。

もっとも、このコンペに逸話が多いということは、44回目というコンペの歴史に基づくものなのかも知れません。

帰りの大分駅構内での今年の残念会では、来年は台風5号にリベンジを!と、ハイボールで乾杯しました。関係者の皆様、お疲れ様でした。

(佐賀地区会 桑原 泰蔵)

第44回九州ミロク会計人会 定期総会記念講演会

笑門来福 生涯現役の勧め

鷹鳥屋神社宮司

矢野 大和氏

※令和元年7月19日に開催された第44回定期総会の
記念講演を要約したものです。



はじめに

こんにちは。矢野と申します。一生懸命しゃべりますので、どうぞ最後までよろしくお付き合いください。

ステージの上でしゃべるのはあまり得意じゃなくて、下に降りて、うろうろしながらしゃべりたいんですけど、よろしいでしょうか。

動きながらしゃべるとなぜいいかといいますと、人間は必ず動くものを見るという癖がございまして、理由としましては自分の身を守るためだそうです。動いている人が何かするんじゃないかということで警戒する。動きながらしゃべると、聞いている人が注意をこちらのほうに向けてくれます。そのことを知ったものですから、動きながらしゃべると、寝る人が減るといのがよくわかりました。

次に、言葉ですけど、時々大分弁が出ますが、勘弁してください。私の一番伝えやすい言葉は大分弁なので、時々大分弁が出ますことをお許しください。

人を元気にする言葉

ところで、どんなご商売でも、お別れするときはこの言葉を言われたら商売がうまくいくという言葉があります。それを、今から言います。この言葉を言われたら最高です。『もう一度あな

たに会いたいです』いい言葉ですね。もう一度あなたに会いたいですと言われたら、全てうまくいくと思います。『大分っていいところですね、また来たいですね』と言えば、ここの観光産業はまず大丈夫だと思います。『ここの料理おいしいですね、また食べたいですね』と言われれば、大分のレストランも大丈夫だと思います。

次に、私の会いたい人を言います。それは元気をくれる人です。笑顔のいい人です。

実はしゃべっている人間に元気をあげる聞き方というがあるので、ちょっと今日は皆さん、やってみましょう。相手に元気をあげる聞き方、じゃあ、皆さん私の言ったとおりにしてくれますか。私が元気になります。人の話を聞くときは、取り敢えずうなずく。そうすると、相手を元気にする。皆さん方のお仕事はご相談を受けるお仕事ですので、取り敢えずうなずくことをやってみてください。きっと相手が元気になると思っていますよ。

取り敢えずうなずく

なぜかという、「そういう考え方もありますね。いや、お宅はそういう考え方でしょうけど、こちらの方の考えとしては」と1回うなずくだけで、相手に元気をやるができるんですね。取り敢えずうなずく。これを私達はこのごろ忘れているんですね。皆さんの友達にいませんか。

とりあえず反対する、とりあえず顎を出す人。いたら笑ってくれますか。『やり方次第ならできるかもしれませんね、そんな考え方もあっていいですね』と、取り敢えずうなずくだけで前に進みます。

うちの倅が小学校3年だったときに私は言いました。いいか、人の意見を聞くときには、そういう考えもありますねと、取り敢えずうなずけと言いましたら、お父さん、そういう聞き方を肯定から入ると言うんよと言うんですよ。何と小学校3年のほうがボキャブラリーが多いんですよ。でけん、無理じゃ、やめとけ、それはお父さん、否定から入ると言うんよと。子供の成長が嬉しゅうて、おまえ、ようそげん難しい言葉知っちゃうのと言いましたら、倅が胸張って、学校に行きよるけんなど言いましたよ。学校というのは頭をよくしてくれます。そうか、学校に行ったらそんな難しい言葉を習うんやのうと言ったら、だって、お父さん、僕たち、学校に行くときはいつも校庭から入りよるけん。(笑)

この話が大好きで、学校でしゃべりましたら、校長先生が真面目な人で、手を挙げて、校門から入ってくださいと言われまして、学校はしゃれがききません。私は家に帰って倅に、校門から入れと言われたぞと言ったら、倅は名言でした。お父さん、座薬やなと言われました。当たっちゃいました。(笑)

お宮の宮司は生涯現役

私は大分の観光特使をしています、先ほど司会者の先生が紹介してくれましたように、元々はお宮の宮司をさせていただいておりまして、大分県と宮崎県の県境にある、639メートルの山の頂上にあるお宮が鷹鳥屋神社という私共のお宮でございます。

お宮には2通りございます。正月の3日間で生活できるお宮とそれ以外のお宮と二通りあるわけです。正月3日間生活できるお宮はほんの一握りでございまして、あとはほとんど幼稚園を経営したりとか、もっと言うと、公務員をやったりとか兼務している。これがお宮の実態でございます。

九州で一番おさい銭の多いお宮は、何といっ

ても太宰府さん、正月3日間のおさい銭を計算するのに銀行員が20人で2日間かかるというんですから、すごのおさい銭です。うちの場合は、私が45秒でやり上げますから、大分違いますね。(笑) でも、いろいろ愚痴を言っははいけません。なぜかといったら、私は太宰府さんには生まれていないわけですから。

太宰府天満宮の宮司さんと私には共通点がございます。これが「肯定から入る」です。何が共通点かいいますと、実はお宮の宮司には定年がないということです。うなずいてくれてありがとうございます。定年がないということは、生涯必要とされるということですから、これが元気の源ですよ。皆さん方のお仕事が、もし資格、免許というので一生ついてくるものであるのなら、肯定的に、いいものやりよるな、ありがてえな、年には関係ねえぞ、この感覚です。

実は今日、甘木の馬田というところで口演をしてきたんですけど、あそこは農村地帯でございまして、田んぼの真ん中にありますから、農業をされている方がいっぱいいらっしゃいました。

農村、ほんとうに農家の方々に、たくさんいらっしゃいまして、農業されている方いませんかと言ったら、手が挙がりました。農業は定年がないからありがたいと思ったら、どうでしょうかねと言ったら、うんとうなずいてくれました。実はうちの方も、農業をされているおじいちゃん、おばあちゃんはいっぱいおられまして、農業されているおじいちゃん、おばあちゃんは元気ですよ。なぜ元気か今から言いますから、拍手してくれますか。農業をやっているじいちゃんの元気のいい理由、それは耕運機が歩行器のかわりになるんです。(笑)これを自然リハビリといいまして、生産活動をしなご腰を伸ばしているわけですね。

それに比べて、何もしない人がぼけているんです。うなずいてくれますか。腕は曲げなかったら曲がらなくなります。しゃべらなかつたらしゃべれなくなります。笑わなかつたら笑えなくなります。洋式トイレばかり入っていると、もう和式トイレに入れなくなりますね。年をとっても鍛えるというのはどうでしょうか。年をとってもすることがありますよ。皆さん方はい

いじゃないですか。年をとってもまだすることがあるんだから。

話を、もとに戻させていただきますけれども、何か生涯現役を持ちましょうということと、それともう一つは、ぼーっとしていたらほけるといことです。うなずいてくれてありがとうございます。今はぼーっとしてはいけません。今、日本人はぼーっとすると、チコちゃんに叱られるんです。(笑) ここはもっと笑うところです。ありがとうございます。

学習意欲が魅力をつくる

太宰府天満宮の宮司さんも私も定年がないということはありがたい。しかし、先ほど言いましたように、お宮の宮司だけでは生活ができないために、宇目町役場という役場に就職をさせていただきました。生涯学習課という課が長かった。今日がそうですね。今日は総会の前に、生涯かけて勉強しましょうという、人の話を聞く、勉強の一つでしょう、学習の一つでしょう。なぜ皆さんは参加されたんでしょう。学習意欲があるからですね。

学習意欲とは何か。勉強しようという意欲ですね。三つだと思えばわかりやすいです。一つは、価値観の相違をうなずくんです。そんな考えもありますね。これで幅が広がります。奥が深いですねと、奥行きができます。専門的な話。そんな事例発表、そんな体験談もあるんですね。といって、体験談を聞くと高さになる。奥行きと幅と高さができます。そうすると入れ物ですよ。人の話を「うん」とうなずいて聞きますと、どんどん頭の中に、入れ物の中に情報が入ります。最後の最後まで情報を入れる人と全く勉強しない人は当然、差ができます。

どんな差ができるか言いますと、それは魅力でございます。魅力、間違いなく、勉強を生涯続けている人は立ち居振る舞いに魅力があるわけですね。

その魅力のある人は、間違いなくお別れするときに言われます。もう一度あなたに会いたい。私みたいな者でも呼ばれて、うなずいていただける口演がある。私はその仕事を18年させていただきまして、いい仕事でした。

言葉の威力

今から20年ほど前ですが、うちの町長が役場での私の仕事ぶりを見に来ました。皆さん、ほかで絶対言わんでください。私は、町長が見に来たときだけは頑張っていました。(笑) 公務員は大抵そんなものです。後ろから町長がやってきて、肩に手をぽんと。「おお、町長」とこういうふうに言いましたが、実は最初から気づいていました。(笑) せこい芝居をしました。

町長が肩に手をぽんと置きまして、言ったせりふは一生忘れません。私に対していきなり町長がこう言いました。何と言ったか。大分弁で、字が汚ねえのう、うそ字も多い、計算もよう間違うちよる、口はよう動くけど、手は動かん。これを否定3連発といいます。うなずいてくれますか。ありがとうございます。

力を持っている人が弱い人に、つまらん、つまらん、つまらんと三つ否定すると、弱い人のエネルギーは出ていきます。なぜか。言葉に魂がありまして、「言霊」といいまして、実は言葉にエネルギーがあるんですね。否定的な言葉をずっとかけると、みんな自殺するそうです。自殺防止対策事業がうまくいきまして、3万人を超えていた自殺者が1割減って、今は2万7千人になりました。それは難しいことでなくて、肯定的な言葉をかけましょうということです。

相手を元気にする方法は、『会えてよかった、もう一度会いたい、あなたがいないと困ります、必要とされています、いや、あなたは役に立っています』皆さん元気になりませんか。逆に否定的な言葉、『会わんほうがよかった、二度と会いたうねえ、あんたはおらんほうがいい、あんたは役に立たん』と言うだけで、私たちはエネルギーを奪われる。要するにかける言葉なんですね。否定的な言葉をかけるか、肯定的な言葉をかけるか。

うちの町長は、三つ否定しましたが、一つだけ、『けんど、おまえにはいいところがある』と言って褒めてくれました。私は、三つ褒められても、一つ褒められたら元気になる人間です。しかし、今の若い人は、三つ褒めないと、一つ指導ができないでしょう。時代とともに価値観が変わったんだと思いますよ。

私は一つ、『おまえは人前で笑い話をしよるときの顔が生き生きしちよる、それを生かさん手はねえ、よし、教育委員会より向いちよるところがある、俺の使い方も間違うちよったかもしれん』と言って、強い町長が、こっちも悪いと言ってくれたとき、日本人は元気になります。社会的な力を持っている人が謙虚になったとき、初めて相手に元気をあげることができるのを謙譲の美德というんでしょうか。要は、社会的な力を持っている人が、こちらが悪かったと。だから、社会的な力がある人が謙虚な姿勢になったんですね。

うちの町長は、『俺の使い方も間違うちよったかもしれんのう、よし、教育委員会より向いちよるところがある、異動じゃ』ということで何と1カ月後に観光課に移れという異動の内示が出ました。皆さん、内示という言葉はご存じですね。ありがとうございます。

『観光の仕事は、机の上についちよるのが観光の仕事じゃない、外に出て、宇目町をPRするのがおまえの仕事、もうおまえは役場に来んていい、町を宣伝する観光大使になれ』と言われて、私は大分県で初めて、役場に行かなくていい役場職員になりました。これは私が変わっちゃるんじゃありません。そんなことを考えついた町長が変わっています。もっと変わっているのは、それに反対せん議会も変わっちゃります。

そのとき町長から言われたポイントが、今日の一番最初のポイントでございます。『いいか、同じところにもう一度呼ばれるような話をつくれ、もし同じところにもう一度呼ばれんときは誰が悪いのか』と言われました。私は心の底で叫びました。それは聞いちよる客が悪いと言いたかったです。(笑)しかし、これは人のせいにしますから、進歩がございません。町長が言いたいのは、同じところにもう一度呼ばれないのは、私の話に中身がない、つまらないから。それがわかったら上等じゃ、『一般企業の人、売れんものをつくったときに、買わん者が悪いなんて言うような人は誰もおらんじゃ、売れるものをつくらなかったこっちが悪い、いいものをつくらう、いいものをつくらうと自助努力と



いうのをする、それは役所には欠けちよる、おまえは営業、同じところにもう一度呼ばれるような話をつくって、日本国中飛び回れ、役場には来んていい』と。こんな町長に出会いました。

公務員の職場

さて、皆さんは税理士さん、いろいろなことがありますけれども、税務署さんに勤務された後に税理士さんになる方がいらっしゃいます。2通りのタイプに分かれますね。腰の低い税理士さんになるか、何と当たり前どおりの税理士さんになるか、見ていてすぐわかるなんていうことも悔しいじゃないですか。どうやったらいいか。これは生涯かけて勉強するという中の1コマで、一つだけ問題提起をさせていただきます。

じゃあ、公務員で困ったなという例を一つさせていただきます。私は口演をさせていただくときに、向こうの方から電話がかかってきます。矢野さん、謝金が出ます。ありがとうございます。旅費も出ますけれども、振り込みでいいでしょうかと言われます。できたら現金のほうがありがたいですねと言いましたら、そうですか、ちよっとうちの役場の職員がお金でミスをして、今、振り込みの方にみんなお願いしているんですけどと言われました。ミスをしたのはおまえのところの勝手じゃろうが、何でそんなことを言うて振り込みにするのか、でも私はいいですよと言いましたら、向こうの方から手紙が来ました。開けてみますと、振込依頼書と書かれています。私がしゃべった口演料については下記に振り込んでいただけますようお願いを

申し上げますと書いて、私が判こを押して、下に通帳を記入して提出しなきゃいけません。私は現金がいいと言ったんです。でも、向こうの方からは、私の方からお願いをするという文章を書いて、判こまでついて、お願いしますという文書を当たり前のように出します。

趣旨が違います。なのに、そうしてしまっているところがあるのなら、それは違うぞという感覚が要るというのがうちの町長のコツ。それを变えるためには、民間の感覚を入れたほうがいいよなという、多分これが趣旨だったと思うんですね。

戻りますと、こんな町長に出会えたということは最高でございました。人は人から元気をもらいます。うなずいてくれてありがとうございます。元気をくれる人がいたら、その人に向かって一言、今日、ありがとうございますってどうでしょうか。この辺かなと思います。人は人から元気をもらいます。女性の方が何人かいらっしゃいます。女性は男性から、もっと言うと、旦那から元気がもらえない奥さんはどうするか。該当者の方はうなずいてくれますか。旦那から元気がもらえない奥さんはどうするか。犬から元気をもらおうおうというので、犬が増えましたね。犬がたくさん増えました。

今、恐ろしいデータが出ていまして、15歳以下の子供さんの数と日本で登録されている犬と猫のペットの数はどっちが多いか。こんなことを聞くということでもうおわかりでしょう。何と犬と猫のほうが中学生以下の子供より多かったのが今の日本の現実でございます。

自然災害と日本

ところで、何と大災害のときに、日本人は犬を助けるということで有名になった国でございます。世界で一番自然災害が多い国は日本でございます。今年も集中豪雨がありました。去年は岡山県、広島県の集中豪雨、その前は日田、朝倉という地域の大水でございました。

その前は熊本の地震というのがありました。熊本の地震の際は、大分も揺れました。震源は益城町というところでしたけれども、私は大分市内にいました。うちの妻は佐伯市宇目町といっ

て、何と大分では一番熊本県に近い竹田市の隣なんですね。そこで寝ていました。夜中の1時30分、飛び起きました。ぐらっと来ましたから。大ごとだと思って、私は夜中に妻に電話をかけました。大分弁で大丈夫かというのを「しゃあねえか」というんです。「しゃあねえか」と、こう言いましたら、妻の一言がすばらしかった。「何が」と言われたんです。(笑) 私はそれを聞いた瞬間、想像しました。残念ながら頭を強く打ったんだと想像してしまいました。何がと言われたので、言っちゃいけないことを言いました。床の間に並んでいる焼酎の瓶は大丈夫かと。あなたは焼酎の瓶と私とどっちが大事。それはおまえじゃと言ったら、今さら遅いと言われまして、次に妻が言った一言がすばらしかった。焼酎の瓶にはびびは入らんかったけど、夫婦の間にびびが入った。うまいなと思いました。

何でうちの妻はこんなに落ち着いているか。東日本大震災のときに東京で生活していたからです。あのときの揺れはあんな揺れじゃなかった。何分も揺れたんですね。しかも、新宿の高いビルが揺れたのがわかったというんです。都内が停電になりました。当然、電車が通らない。都心の被災者550万人の一人として、新宿方面から三鷹方面まで歩いて帰ったという帰宅難民者の一人。だから、少々の揺れは大丈夫なんです。

私は、この前の自然災害だったか、線状降水帯という気象用語を初めて聞きました。入道雲が帯になりまして、どんどん雨が降りまして、1級河川鬼怒川という川が決壊をいたしまして、逃げ遅れた方がいらっしゃる。屋根の上においちゃんとおばちゃん、それに犬が2匹おりました。自衛隊員の方がその犬を助けたんです。それを全世界の人が見て、あの緊急事態に日本人は犬を助けた。多分、外国では助けないところもあるんでしょう。自衛隊員とおばちゃんの間には犬が1匹、おいちゃんと自衛隊員の間に犬が1匹、見事な早わざでヘリコプターに助けられました。

命は平等か？

私は、命は平等と子供のときに習いました。命は平等、命は平等と習っていました。ところが、

どう見てもあの救出劇はおばちゃんが先でございました。もう一回言います。命は平等と習っていますが、どう見てもあれはおばちゃんが先でした。いわゆる順番があるわけですね。平等論を説くとなかなか前に進まなくなりますが、実は順番論、優先順位ですよ。あのときおばちゃんが先に助けられたとき、私たち男が怒ったのでしょうか。文句を言ったのでしょうか。なぜ男を先に助けないかという世論が巻き起こったのでしょうか。起こっていないです。女性を先に助けることは当たり前です。なぜ当たり前か言います。男が力持ちだから。屋根にしがみついている力は男のほうがあるんです。全員助かる可能性があるから、おまえが先に行けと。

次は理屈じゃない。本能的な部分です。本能的な部分は、子孫を残すという本能的な部分。そのとき女性がたくさん生きていたほうがいいのか、男性がたくさん生きていたほうがいいのかは一目瞭然。女性がたくさん生きていたほうがいい。これは本能です。理屈じゃありません。だから、おまえが先に行けというのは当たり前のことです。女性は胸を張って助けられてください。当たり前のことですよ。

人は人から元気をもらう

基本的に人間は人間から元気をもらう。これがわかっていると、元気をくれる人がいたら、今日は素直にありがとう。男性の方が多いので、はっきり言います。奥さんがいらっしゃる方は、奥さんにありがとう、こう言うだけで奥さんは元気になります。熟年離婚を防ぐ三つの言葉というのがあります。熟年離婚を防ぐ三つの言葉、「おはよう、ありがとう、ごめんね」この三つだそうです。ところが、なかなかこの「ごめんね」が言えないんですよ。

よかったら男性の皆さんは一言、『いつか言おう言おうと思うちょっとしたんだけど、なかなか照れがあって言えねえで。う、よう俺みたいな者に長いこと連れ添ってくれてありがとう、心の底から感謝しちよる』それをちょっと言ってください。そうすると、奥さんが間違いなく、あんた何か悪いことしたんじゃないの、大分で何があったと言われますけど、(笑)相当嬉しいもの

だそうですよ。笑いながら聞いてくださいね。

自分の奥さんが美容院に行って髪型を変えたときぐらいは、旦那さんは気づかなきゃいけないそうです。自分の奥さんが美容院に行って髪型を変えたら、きれいになっているでしょう。なっていないですかね。(笑) なっていないから次へ行けません。なっていますよ。『おっ、きれいになっちゃるの、よう似合うちよるよ』ぐらいのことを言ってください。そうすると奥さんは元気になるそうです。間違ってもこう言っちゃだめだそうです。『どうしたんか、その髪は、あさって法事か』と、こんなのはだめです。

新しく服をおろしたときは、あら、お母さん、そんな服持ちよかったんやね、よう似合うちよるがや。大分弁で10歳若いを「とおほど若え」。「とおほど若えぞ」ぐらいのことを言ってください。間違っても服のときこれを聞いたら終わりです。『何ぼしたんか、その服は、ようあんた、そげなお金持ちよかったね』こんな言い方をするんですね。

何が言いたかったかというと、ご夫婦健在な方は、エネルギーをくれるという仲間がいるという、ありがたいことだと肯定的にとるわけですよ。ご夫婦健在じゃない方々は、誰からエネルギーをもらうか。気の置けない仲間、そちらからもらうわけですね。何を言っても大丈夫という仲間をつくれば、セクハラ、パワハラはありません。セクハラ、パワハラは、何を言っても大丈夫という信頼関係の中ではできないわけですね。この関係を見抜かなきゃいけません。

うちのおふくろは生涯現役

実は私にはおふくろがおりまして、昭和一桁生まれでございます。おふくろが時々否定的に、年寄りがおると迷惑をかけると言います。自分も年寄りになることはわかっていますから、ここで、おらんほうがいいと言ったら終わりです。じゃあ、何と言うか。母ちゃん、おらんと困るがやと、こう言います。そうか、年寄りもおらんと困るがやと言って、私はおふくろの仕事をつくりました。

実は私は和服生活を3年やっています、うちの家には背広、ネクタイ、1本もありません。

洋服はありません。全部和服です。毎日毎日和服です。今、和服はたたき売られています。多分、皆さん方の筆筒の中にも、1回も袖を通したことの無い和服が眠っているはずです。その和服を業者の方々は30円、40円で買いに来ます。そうすると、インターネットの中で300円、400円、大島紬でも1,000円なんていう値段で売られているのが今、ネットの世界の和服でございます。

今、着ているのは紹という生地 of 羽織でございます。200円で購入しました。帯は正絹の帯ですけど、160円。この羽織のひもは何と60円で買いました。上から下まで一番高いのは足袋の550円という。1,000円ぐらいで着ているということがわかっていただける。これぐらいたたき売られているというのが現実でございます。

そのかわり古着ですから、寸法が合いません。おふくろに、母ちゃん、丈が合わんがや、袖口がほころびちよるがやと言いますと、おふくろは、わかったということで、私の寸法に合わせてくれます。そのときに必ずすることをします。何か。お金を上げます。すごく喜びます。また次やってくれます。でしょう。

お金というのは、年をとっても評価ですから、おじいちゃん、おばあちゃんたちに生涯現役でお金もうけさせてあげませんか。

実は埼玉にあるスーパーマーケットは、75歳が定年だそうです。そうすると、スーパーの75歳のおじいちゃん、おばあちゃんは黙々と単純作業をしてくれて、それはうまくいっている。それだけじゃなくて、若い人たちが悩み事を75歳のおじいちゃんに相談するとすぐに解決してくれると。うまくいっていますよ。今、日本に一番必要なことは、生涯かけて現役を張って、金もうけをする。そのかわり年金は減らさないという、こういうシステムだと思うんです。

うちのおふくろに、母ちゃん、やるがやと言ったら、必ず次の時もしてくれます。

次はおふくろの教育です。昭和一桁生まれですから、うちのおふくろの教育は我慢する教育です。我慢というのは絶対要と思います。我慢するとい

うことが人間の基礎です。うちのおふくろは42歳で後家になりましたけれども、我慢する力があるものですから、私を私立の大学まで入れてくれた、そういうおふくろだと思います。教育がすごいですから、私の倅、いわゆる孫に、おばあちゃんの部屋で寝よと言って、中学校3年までおばあちゃんに習いました。そうすると、おばあちゃんがいろいろなことを教えてくれます。

一つ目、していいときとしては悪いときという判断がわからなくてどうする。同じ行動でも、していいときとしては悪いときがある。大きな声で騒いでいいときと静かに聞くとときがある。前に進んだほうがいいときと退いたほうがいいときがある。これがうちのおふくろの教えです。状況判断、臨機応変で自分の身を守っているということですね。

家庭におけるおとうさんの存在

私が家に帰って元気がもらえなかったのは、こういうことでした。ただいまと帰りましたら、小学校3年の倅が私に向かって一言言いました。何と言ったか。お父さん、帰ってきたん。改めて言われると、帰っちゃいけないのかと気になります。逆に早く帰って寝ていましたら、中学校になって体格がよくなりまして、うちの倅は私をまたいだんです。またいだときに出た言葉が恐ろしかった。あつ、おったんやな。おっちゃん悪いんか。私の顔を見た瞬間に、お母さんは？

と言いました。買いもんじゃ。おばあちゃん？ 裏の畑で大根抜きよるぞ。次のせりふは



恐ろしい。あら、今日はお母さんもおばあちゃんもおらん、家に誰もおらんと言ったんです。(笑) おまえ、誰と話ししよるのかと。お父さんがいないんです。

それから、お父さんというのはどういうときに出るかなと私は調べました。

すみません、もう皆さん、聞いてわかると思いますが、私の話は日常がテーマです。日常でいいと思っています。

家庭における分業のすすめ

日常の中に間違いなく真理というのがあるんだなと思っていますので、私は日常でネタを探そうにしました。そしたら、お父さんってどんなところで出るのかなと思って調べました。

妻が料理をしていまして、男の子が料理をします。いいことですよ。料理は生きる力ですから。男も女もどちらもできたほうがいいんです。男女共同参画なんて難しい言い方をされますけれども、これの一番の問題は、分業を認めるということです。分業というのは分けてやる。分けてやることによって、専門職ができ、専門職ができたから、巧の技ができて、間違いなく下町のロケットも飛ぶわけですよ。ということは、分けるということは当たり前です。その分けるときにルールがある。

昔の農家の方々は、分けるときルールを無視していたんです。おまえが飯つくれ、俺が食うんじゃ。なぜかという、筋肉文化だったからですよ。力仕事というのは男の社会ですから、米俵をたくさん運べる人が偉いわけですよ。だから、お父さんがいつも偉いから、お頭つき、一番風呂。これに疑問を感じた農家の主婦の方々は、女の子が生まれたら決定打を言いました。農家以外に嫁げと、こう言ったんですよ。それで、農業の崩壊というのが起こったわけですよ。

話し合えば分業が成り立ちます。なぜかという、今は筋肉の文化じゃありません。頭脳の文化ですよ。だから、筋肉から頭脳にかわった。頭脳は男も女もイコールですよ。ということは、男と女はイコールであるという文化になった。しかし、男のほうに力が残っているから、DVなんていうややこしさが残るわけですね。

すまんのう、俺は外に出て何とかして銭稼ぐけん、おまえ、おっばいが出る間は子育てやっちくれ、俺は出らん。わかった、私がするよ、心配せんでいい、でも、私が熱出して倒れそうなとき、あんた、赤ちゃんにミルクつくってよ。おお、そのときはいつでも言えと言ったら、分けることできませんか。逆に、私が外に出て働くけん、あんた、子育てして。おお、俺は子育て、子供は大好きじゃ、俺が子育てするけん、働いてくれ、それでも結構です。これは話し合えば分業ができるわけですね。

私は話し合っています。すまんのう。俺は家じゃあ料理はせん、そのかわり外で頑張るけんと言ったら、わかった、私がするよと言って、私の妻は料理をしてくれます。おふくろの世話もしてくれます。ありがたいです。男の子にも女の子にも料理を教えていました。楽しそうでした。

落語との関わり

実は私は落語が好きで、高校のときに落語研究会という会をつくりました。大好きです。人を笑わせることが大好きです。先生から、矢野、落語研究会をつくったのは本当か。はい。落語研究会で一体何を研究するのかというので、「落ち」ですと言いました。落ち、ちょっとやってみれというので、先生の前でやりました。鳩が何か落としたよ、ふんと言いましたら、先生が私の顔を見て、ばかじゃねえんか、そんなことをおまえ、研究して何になる、そんなこと研究しよったら受験は落ちるぞと。確かに落ちました。おっしゃるとおり。(笑)

社会人になりまして、大分県南落語組合という社会人の落語の会をつくりました。先生から電話がかかりまして、矢野、元気はいいか。あら、先生、久しいな。おまえにお願いがある。何ですか。済まんけど、学校の先生たちの前で一席落語をしゃべってくれ。先生に必要とされました。でも、高校のときのかたきをとりたかったです。先生、高校のときはくそ、かすのごとく落語を否定した者が今ごろになって、よう私の落語を必要としますねと言ったら、先生は名言でした。あのときはあのとき、このときはこの

とき。(笑) 人間は時と場合。そのとおりやな。先生、私でよかったら行きましょう。来てくれるか、大分県指導主事研修会、学校の先生を指導する先生たちの大会じゃ、テーマは俺が考えちゃう。

今日の口演会のテーマは生涯現役の勧めですね。そのときのテーマは皆さん、何だったと思いますか。聞いたら笑ってくれますか。大分県指導主事研修会、講師への対話、テーマは何と「一芸は身を助く」でした。いいテーマです。何か一つ得意技があると、何か一つの得意技、その得意技があると必要とされる。必要とされたら生きていけるんだ。だから、資格、免許、それが皆さん方は資格を持たれている。免許を持たれている。一生それがついてくるのなら、肯定的にありがたいな。社会に対して貢献ができる、必要とされているありがたいさ、こういうことですよね。

世界の中の日本

話は変わりますが、世界の方々が日本に3,000万人来るようになりました。今、韓国とちょっともめていますから、今年は減るかもしれません。しかし、3,000万人というのは莫大な数字です。日本に来て一番驚くことは何かといいますと、公園がきれいとか、新幹線が1分もおくれないとか、世界で一番きれいなトイレに入っていると、こういうことに驚きます。

世界で一番きれいなトイレに入っている日本人、ご存じでしたか。TOTOに行かせていただきましたら、日本人しか考えられないあのTOTOのウォシュレット、あれは飲める水をトイレに流しているからできるということを発見しました。飲める水ということは、直接お尻にさわっても病気になりません。ほかの国は雨の水。もっと言うと川の水だったら、感染症になる可能性がある。飲める水をトイレに流している国日本、世界にはそんなにたくさんない。こういうことですよね。

落とした財布が戻ってくる国日本、これもすごいことです。一昨年、まだ去年のデータはありません、一昨年、東京の方々が拾った財布を警察に届けました。そのお金が幾らになるかと

いうことが新聞に載っておりました。一昨年です。どれぐらいだと思いますか。拾った財布を警察に届ける、そのお金の総合計。1年間に37億円届けたそうですよ。

滝川クリステルさんというきれいなお姉さんがオリンピックを招致するとき、あなたが東京で財布を落としてみてください、その財布は1週間以内であなたの手元に戻ります、これが東京の治安でございます。ちなみに去年は3,000万ドルほど拾いました。あのときのレートで31億円。おとしは6億円あがって、37億円届けた。なぜそんなことができるのだろうかということが外国の方々の謎、日本を称賛しているわけですね。

サウジが日本に習え

サウジアラビアという国は日本が好きです。サウジアラビアのテレビに「改善」という番組があります。よかったらインターネットで、サウジアラビア、テレビの番組、改善という三つのキーワードで調べてみてください。その番組が出てきます。サブテーマは「日本に習え」と書いてあります。サウジアラビアのレポーターが日本に来て、日本のいいところをレポートするわけですよ。

学校に行きます。学校に行って、掃除の時間があるわけです。日本は子供たちを働かせている。外国では子供たちに掃除をさせることは労働です。しかし、日本は教育でございます。小学校のときに掃除をさせるから、こんなに公園がきれい、こんなに公共施設がきれいであるということがわかって、サウジアラビアに帰って、王様に、是非小学校に掃除を入れましょうと提案をして、今、600校のサウジアラビアの小学校が掃除の時間を入れている。こんな番組なんですよ。よかったらみてください。勉強になります。ただしアラビア語です。(笑) 大体雰囲気わかります。

そのときに、落とした財布がほんとうに戻ってくるのだろうか実験をしているわけです。サウジアラビアのレポーターが二人いまして、会話をする。真ん中に財布を置きまして、何げなく立ち上がって、財布を忘れたような形にす

るわけです。その財布をはるかかなたから望遠レンズで引かれて、カメラから見られています。その財布がその後どうなるだろうかといって追跡をしている。日本人から考えたら嫌らしい番組ですよ。10回ぐらい落とすんです。10回ぐらい実験をしたら、その10回とも全部、拾った人が交番に届けたんです。信じられない。なぜ日本人はそんなことができるのだろうかの謎で終わっているんです。検証してないんです。

私も考えました。なぜ日本人は拾った財布を警察に届けるか。考えませんか。例えばここに1万円落ちていました。

あるいは5万円、10万円、100万円、額が上れば上がるほど私たちはお金を警察に届ける。じゃなかったら、37億円にならないんです。誰も見ていないところで拾ったお金まで警察に届けるから、世界の方々は謎なんです。なぜ届けるんでしょう。それは、おばあちゃんが我々に教えてくれた教育でございます。先人の方々が我々に教えてくれた教育でございます。

お天道さんが見てる

おばあちゃんがいつも言っていました。お天道さんが見ちよるぞ。おまえのやりよることは、のう、万事お天道さんが見通し、お天道さんが見ている。何度も聞いています。吹く風が見ちよる、木が見ちよる、大きな岩が見ちよるといって、自然には全て神様の目がありますよ。岩には岩の神様、木には木の神様、もっと言うと、川には川の神様といて、右代表がお天道さまだ。私たちは自然がイコール「神」でございます。

自然がイコール「神」だから、自然に逆らっているお仕事の建設業、大工さん、これは自然に申しわけないです、人間が豊かになるため、便利になるためにあなたの領域を荒らしましたといっ、床鎮めの神事、いわゆる地鎮祭といっのをして、神様の許しを。こうやってでき上がっている。

震災日本は復興する国

だから、自然災害に文句を言わない。こんなに世界で一番自然災害が多いのに、日本人は自

然災害に文句を言いません。台風が沖縄でできたときに、我々はしょうがない、台風の進路は変えられんがや。うちのおばあちゃんはずっと、台風は3日もすればどこかにおらんなる、いいか、じっとしとけ、田んぼの水を見に行くな、川に行ったらいけんぞ、嵐が来たらじっとしちょけ。いつも言われていました。今の若いお嬢さんは、嵐が来たらコンサートに行きますよ。(笑)(拍手)これは基本的に間違いでございます、来年の12月までですけれども。

はっきり言いますけれども、じっとしとかないけない。そのかわり、じっとして、じっとして、エネルギーを蓄えます。うなずいてくれてありがとうございます。嵐が通り過ぎるまでエネルギーをぐっと蓄えている、そのエネルギーを使うんです。どこで使うか言います。復興です。そのときの合言葉を言います。前よりいいものをつくろうやな。前より頑丈なものをつくりましょう。前よりもっとすばらしいものをつくりましょうと言いませんか。だから、日本人は、災害が起こった復興のたびごとに技術の革新、技術の革新ができて、しかも前よりいいものをつくりましょうといっででき上がっている民族、世界の方々は復興の国と言います。

何と神戸の大震災はわずか3年で元通りになりました。世界が一番驚いたのは、博多の地下鉄の穴です。10日間で元通りになりました。信じられない。うちは1年かかるというのを10日でやったんですよ。すごいですよね。それはなぜか。周りが元気だからですよ。何と神戸の大震災は岡山が元気、京都が元気、大阪が元気。だから、余っているところからどんどんどん物流をやって、見事に復活しました。

戦後復興と日本人

世界が一番驚いたのは、太平洋戦争の終わった後です。それは地方都市が全部焼け野が原ですよ。10万人以上の都市で焼け野が原にならなかったのは四つの市ですかね。倉敷、そして京都と奈良と隣の別府です。この四つは何と焼け野原になりませんでした。答えは簡単です。なぜか。倉敷はアメリカの作家の美術品が眠っている大原美術館があったからという説、奈良と

京都はお寺があったからという説、別府は温泉があったからですよ。何とGHQが疲れたときには保養地をつくろうということで、別府にはアメリカの兵隊さんたちの保養地があった。うちの町の宇目町という町にも爆弾は落ちていないんです。答えは人がいなかったからです。(笑)イノシシを殺してもしょうがない、費用対効果がないと思ったからでしょうね。

何と地方都市は全部焼け野が原になりました。進駐軍が入ってきました、この民族はいかに優秀であっても滅んだな、着る物が無い、食べ物がない、住むところがない、これだけこてんぱんにやったら、2度と元の日本に戻ることはないだろうと決めつけました。

そこに通訳として入ったのが、ご案内のように、福岡県豊前市出身、今は吉富町ですか、その町の出身の通訳は、本名、有吉良一といいます。アメリカの名前はジョージ・アリヨシといいます。この方のお父さんは相撲取りです。この相撲取りがハワイの巡業に行ったとき、ハワイはいい国、アメリカはいい国といって永住権をもらったために、倅はアメリカ人。もちろん日本語も英語もしゃべれる2世なんですね。

アリヨシ、おまえの民族は滅んだな、こんなにこてんぱん、こてんぱんにやってしまったら、いかに優秀な民族であっても2度と復興することはできないと言われました。ところが日本人ですから、心は大和魂がありますから、そうでしょうかねと言って連れていったところが、食べ物を配るところです。東京の方々が1列にずらっと並んでいるのに、誰一人列を乱しません。誰一人割り込むこともしません。略奪もしません。アリヨシ、うちの民族だったら、間違いなく1列には並んでない、割り込む人がいる、もっと言うと略奪というのが起こるのに、なぜ日本人は略奪をしないんだと言ったわけですよ。

有名な一言ですよ。何とアリヨシさんは、天を指さして、アメリカの方にはわからないでしょう、お天道さんが見ているという教育が日本にはございます、花を生けても華道という道にいたします、お茶を立てても茶道という道にいたします、字を書いても書道、相撲をとっても相撲道、剣をとっても剣道という、スポーツであろうと、趣味事であろうと、全て日本人は道

というのをつけて、人の道を教えるんです。だから、お天道さんが見ているから、乱れることはないんです。

国の財産は人

アメリカの方は、何と日本という国の財産は人である、その人の財産は教育であると言って、教育を徹底的にアメリカリズムにしていっていったでしょう。個人、個人、個人。あなたが一番、あなたが一番、あなたが一番というふうにしたのが教育だと言われています。うなずいてくれてありがとうございます。

有楽町というところのガード下で子供たちが靴磨きをしていました。ジョージさんが靴を出しましたら、一生懸命磨きます。でき上がりました。僕、年は幾つかな。7歳でございます。かわいそうに、お駄賃を上げます。GHQに帰りまして、パンを持ってきて、その子に、パンを食べなさいと施しました。その子は一言、言いました。先ほどお金をいただいているので、もらう理由がわかりません。こんな小っちゃな子供、7歳の子供であっても礼節がわかっている。この民族の教育はすごい。おいちゃんは、君がおなかですいていることがわかるから、食べなさい、ここでわからないように食べなさいと言って、2回施した。2度押しをしたんです。その子は、ありがとうございます。本当はおなかが減っているから、欲しかったんです。でも、食べないんです。僕、なぜ食べないのと聞きました。はい、家に帰ったら、もっとおなかのすいているマリコという4歳の妹がいます、このパンは妹にも上げますと言いました。

ジョージさんは驚きました。世界の民族で7歳の子供が、自分の空腹を我慢して、妹に上げたい、妹に上げたいなんていうことを言える民族が日本人以外にいるのか、この民族の底力、成りや形じゃない、ちょっと自分を犠牲にして、誰かのために尽くし、その誰かが喜んでくれたら自分もうれしいという日本人に侠気の心がある、間違いなく20年かからないで復興するだろう。

20年かかりません。13年後には東京タワーをつくりました。その6年後には日本初のオリ

ンピックを成功させました。アメリカの方々はこれが怖いと思います。ちょっと自分を犠牲にして誰かのために尽くす。だから、個人、個人、個人、自由、自由、自由。あなたが好きにすることが自由、あなたが言いたいことを言うのを権利と言って、私たちはいつの間にか横の連携がぶちぶち切れて、個人プレーになったという話を実は被災地でしました。

日本人の俠気の心

大目玉を食いました。何を言っているんですか。いざ地震が起こり、いざ災害が起こったときに、日本人はみんな俠気の心を持っています。一晩で何億というお金が集まる。今日はうどんが20杯分しか残っていません、済みません、今日の食糧はうどんが20杯分だけでございますと言った瞬間に、若者が、おなかがすいていないので、どうぞお母ちゃん、おばあちゃんから行ってくださいと譲る光景を何度も見ました。一番最初に並んでいる若者が、じゃあ、2番目にと譲る。あなたが1番なら1番にとればいいのに、なぜ次に譲る心があるの。

よかったら、東日本大震災、海外メディア、称賛という三つのキーワードを入れたら、外国の方々があの東日本大震災のときに入って、日本人が乱れる姿、日本人が乱れていく姿をレポートしようと思って入ったのに、何一つ乱れていなかったという報告を現地から自分の国に送っています。それらの新聞記事が山ほどあります。何と信号機が止まっているのに、クラクションを誰一人鳴らさない。何で地下鉄で真ん中の間だけは通路があるように座ることができるのだろうか。中国は経済で世界第2位になったけど、マナーは一生かけても日本を抜くことができないという、あのプライドが高い中国の新聞も日本を称賛しているという例が幾つも幾つもある。私たちは、いざとなったとき、自分をちょっと犠牲にして誰かのために尽くすことができるということが今もあるんだ。

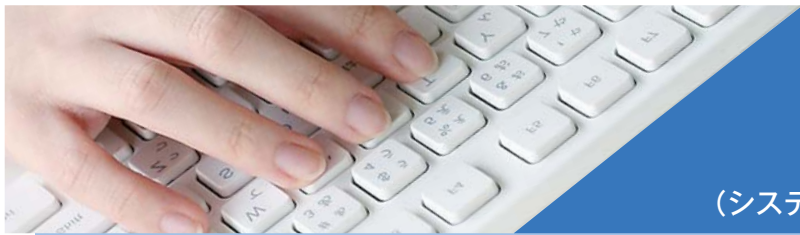
うちの妻が新宿から三鷹まで歩いて帰るときに、多くの方々が一緒に歩いた。列も乱れない。黙々として帰っていく。そのときに世界が驚いた看板をうちの妻が見つけた。何という看

板か言います。よかったらうなずいてくれますか。それは「トイレどうぞ」という看板です。赤の他人にトイレを貸すのは嫌だと思います。しかし、民家から、今、私ができることは私のトイレを貸すぐらいですから、どうぞと言って、ファミレスも、もっと言うとコンビニも全部出していますけれども、民家からそれを出したということを見たときに、世界の方々が「すげえな」と言いました。

地下鉄のあの穴が10日間で元通りになった理由を言います。それは、泥水と一緒にセメントを流して固まるセメントを日本人は持っているという技術のすばらしさ。それと、セメントの量が足りませんでした。ところが、夜中に九州道を飛ばして、生コンクリートのミキサーを飛ばしてくれた県があります。熊本県の生コンクリートの業界です。何と熊本県の方々は、夜中にミキサー車を飛ばして、博多の穴を埋めてくれました。なぜ熊本の人がしてくれたか。答えは、熊本の大地震のときに福岡の人が応援してくれた、その恩返しなんだそうです。

だから、横の連携がぶちぶち切れても、何かあったとき、私たちはそれができるといって、それを持っていると言われたとき、すごい国だなと。私が言っているんじゃないくて、世界が言っているということなので、もうちょっと胸を張ったらどうかと、こういう気がします。天狗になる必要はありませんけれども、胸を張ったらどうかと。

つまらない話を真剣に聞いていただきまして、ほんとうにありがとうございました。御清聴ありがとうございました。



システム 委員会だより

(システム開発委員長 外園 令明)

消費税軽減税率のシステム対応について

今年7月22日にリリースされました、軽減税率対応のプログラムについて簡単に解説します。

まず基本操作ですが、会計大将の消費税は「標準税率」というものを勘定科目に紐づけしています。今年の9月30日までは標準税率は8%です。システムは日付で判断しますので、9月30日までの仕訳は消費税8%で処理します。10月1日以降の仕訳は10%となるのが基本です。

前回の消費税率が5%から8%に変更になった時に、数多く改善の要望があった前払家賃の処理です。今年9月に払った10月分の家賃について、従来は9月に払った時に一旦仮払金や前払費用に計上し、10月にこれを経費科目に振替えていました。しかし、今回は会計大将の「導入・登録」⇒「仕訳入力情報」⇒「令和1年9月の10%入力」のチェックボックスにチェックを入れると9月に10%入力処理が可能になりました。

10月以降、入力時にファンクションキーF2で消費税率を10%、軽減8%（バックが黄色）、旧8%（赤文字）、5%（赤文字）と変更できます。

また、会計大将の「導入・登録」⇒「仕訳入力情報」の消費税率で、仕訳入力時に画面上部のウィンドウに各税率を表示してマウスやテンキーで税率を選ぶようにすることもできます。

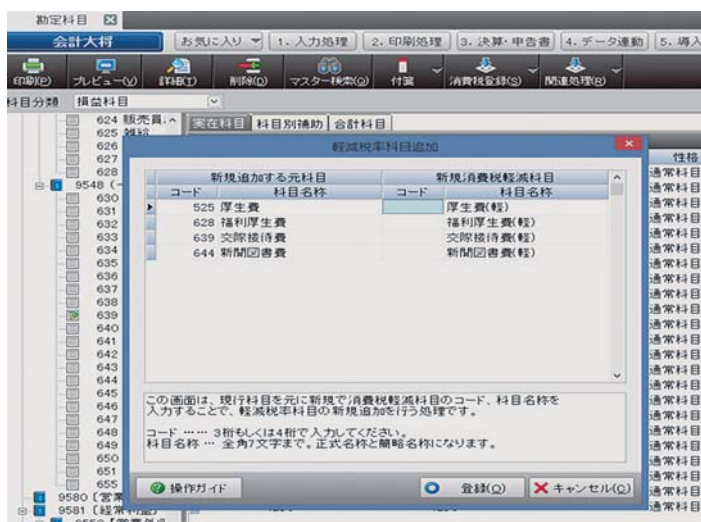
ここまでは、MJS 開発部門が作成してくれたレギュラーの入力方法です。今回もシステム開発委員会で消費税の処理について検討を重ねました。そこで、入力時、チェック時にも間違いにくく、他社データを取込むときも容易な方法として、軽減税率適用を別科目にする事を提案し、開発して頂きました。

「福利厚生費」「交際接待費」「新聞図書費」など10%と8%が混在する科目、例えば「福利厚生費」と「福利厚生費（軽減）」に区分して入力することができるようになりました。新科目「福利厚生費（軽減）」の科目コードは事務所で自由に決めることができます。また、決算書や電子決算報告書類には、合計された「福利厚生費」が出力されるように自動で設定されるようになりました。処理は「導入・登録」⇒「勘定科目」⇒「損益科目」⇒「消費税登録」をプルダウン⇒「軽減税率科目追加」で簡単に設定することが出来ます。

⇒「軽減税率科目追加」で簡単に設定することが出来ます。

本来ならば、個人事業者の所得税申告書システムの青色決算書にも合計科目を連動して貰う予定でしたが、青色決算書のシステム上、どうしても連動する事が出来ませんでしたので、青色決算書を作成されるときは、加算する科目を追加してください。

詳細は「2019年10月消費税改正対応 改正点マニュアル」「2019年10月 消費税改正対応システムQ & A集」をダウンロードして参照ください。



研修会

「知らないと損する、
相続税申告書システムの新機能」

令和元年6月24日九州北部税理士会館において、近畿ミロク会計人会システム開発委員長の笹田淳先生をお招きして、昨年3月にリリースされた改良版相続税申告書システムの研修会を開催しました。この研修会は九州ミロク会計人会システム開発委員会主催ということで、九州会の全ての会員の皆様に開催通知をさせて頂きました。当初は、定員100名という形で募集しましたが募集開始3日目に90名を超える応募があり急遽定員を150名に増員しましたが、それでも足りずに会場最大の人数として九州全県から163名（プラス各支社のCS担当者）の応募を受け入れました。そのため、事務所毎の人数制限をさせて頂きまして、誠に申し訳ございませんでした。

改良版相続税申告書システムは、連合会システム開発委員会監修となっていますが、MJSの開発部門が、改良版開発当初から委員会の意見を取り入れて頂き3年間かけて出来上がったものです。これも会員の皆様からのシステム改善要望があったからです。

これまで、分割パターンをクライアントに数種提示するためには、基本データをコピーして作成していましたが、改良版では5パターンまで簡単な操作で作成できること、クライアントに見せることが出来る数多くの資料をプリントアウトすることが出来るなど、笹田先生がレジュメに基いて丁寧に説明されました。MJSのCSが行うシステム研修とは、全然違って実務に添った研修会でした。



研修会後半では、システム研修から離れ、相続税の申告を依頼されたとき、ほとんど相続財産に含まれている不動産の評価をする前の、不動産調査方法の一部を伝授頂きました。

まず、ネットを駆使して机上でできる調査の方法から始まり、役所で取れる資料や役所のどの部署で何の資料が取れるのか、最後は必ず現地に行ってどのような事を見ているのかなど、即実務に使える調査のやり方の研修をして頂きました。

研修会開催後、研修会に参加できなかった会員から再度研修会の開催要請、支社のCSに個別研修の依頼などがあっているそうです。笹田先生の地元近畿会でも数回同じテーマの研修会をされています。

最後に、笹田先生は今年10月に函館で開催される全国統一研修会第一分科会で同じテーマで講師をされます。今回の研修会に欠席の会員、再度聞きたい会員の方々は、是非、函館に足を運んでください。

北九州地区会 定期総会・講演会・懇親会を開催

「IR」について分かりやすく



令和元年7月8日（月）ホテルクラウンパレス小倉において北九州地区会定期総会が開催されました。

総会は、三井副会長の司会で始まり、小林地区会長の挨拶の後、原田理事が議長に選任され、下記議案の審議に入りました。

第一号議案 平成30年度事業報告及び承認について

第二号議案 平成30年度決算承認の件及び監査報告について

第三号議案 令和元年度事業計画案の承認について
以上の各議案について執行部より説明があり、洵上監事による監査報告が行われ、審議の結果すべての議案について満場一致で決裁承認された。

引き続き行われた、記念講演会では講師に北九州市役所の橋本泉氏をお招きし、「IR」について大変分かりやすくご説明頂きました。統合型リゾートとは何か？メリット・デメリットにはどういふものがあるか？北九州市の置かれている環境についてなど、普段ニュース等で耳にしていながらも、正確には理解していなかった事柄を自分なりに整理する良い機会となりました。

その後の懇親会には、講師の先生や来賓の方々にもご参加いただき、終始和やかな雰囲気のなか、一連の行事は滞りなく終了致しました。

（北九州地区会 野村 真宏）

福岡地区会 福岡地区会定期総会を開催

今までにない多くの参加者

令和元年7月12日（金）福岡地区会定期総会が福岡市西区の日本料理とり市において開催されました。

総会は吉住総務委員長の司会により始まり、来賓の紹介が行われ、吉田副会長の開会の辞、笹田会長の挨拶の後、議長選出に入り野田会員が選ばれました。議事録署名人には石橋会員と鉄川会員が指名され、議案の審議に入りました。

議案1 平成30年度事業報告及び承認について

議案2 平成30年度決算報告及び承認について

吉住総務委員長及び木下財務担当委員より事業報告及び決算報告について説明があり、桑原監事から監査報告がなされました。審議の結果承認可決されました。

議案3 令和元年度事業計画及び予算案承認について

吉住総務委員長及び木下委員よりそれぞれ説明があり、審議の結果承認可決されました。



以上で議案審議が終了し、続いて来賓のミロク情報サービス営業副本部長の笠井常務執行役員が祝辞を述べられ、外園副会長の閉会の辞により総会は無事終了しました。

今年はいつものホテルではなく、室見川沿いの料亭で開催されたこともあり、今までにない多くの参加者で懇親会は大変盛り上がりしました。

（福岡地区会 空閑 秀樹）

筑後地区会 第30回定期総会を開催

IT化が進行していることを実感



令和元年7月5日（金）ハynesホテル久留米において、筑後地区会の第30回定期総会が開催され、その後研修会、懇親会が行われました。

総会は、議長に園田会長が就き、第1号議案「平成30年度事業報告及び決算承認の件」について議長から説明があり、小坂田監事より監査報告がなされ、審議の結果承認可決されました。続いて第2号議案「平成31年度事業報告及び予算承認の件」についても議長による説明があり、審議承認可決されました。第3号議案「一部役員改選

の件」についても、1名の役員交代がスムーズに承認され、総会は無事終了しました。

続く研修会では、MJS 税経システム研究所客員研究員の出縄良人氏を講師にお迎えし、昨年引き続き「FinTechで広がる会計事務所の仕事」の講義をしていただきました。昨年のお話から、さらに金融サービスにおけるIT化の状況は、もっと進行している内容を聞き、税理士・会計事務所もうかうかできないなと改めて感じさせられました。

懇親会では、来賓にMJS九州沖縄圏統括部総括副部長（兼）ソリューション九州支社支社長・高木紀彦氏をはじめとするMJSの方々、大同生命保険株式会社、エヌエヌ生命保険株式会社の方々、研修会の講師をしていただいた出縄良人先生に出席をいただき、窓から見える素晴らしい夕焼けを眺めながらのおいしい料理と飲み物で会場が盛り上がりました。

（筑後地区会 江崎 洋介）

佐賀地区会 佐賀地区会定期総会を開催

会員拡大の取り組みに深く感銘

令和元年6月7日（金）武雄温泉の温泉旅館・湯元荘東洋館に於いて、佐賀地区会の定期総会が開催されました。

総会は馬渡明会長の進行の元、第一号議案「平成30年度事業報告及び決算承認の件」、第二号議案「令和元年度事業計画及び予算案承認の件」について説明があり、原案通り、満場一致にて承認可決されました。

承認された令和元年度事業計画においては、各種セミナーや親善ゴルフコンペ等のレクリエーションなど昨年度と変わらぬ充実した計画となりました。また、私は初めて参加させていただきましたが、馬渡明会長をはじめ、九州ミロク会計人会佐賀地区会の会員の皆様のチームワークの良さと会員の拡大のために必死に取り組まれていることに深く感銘を受けました。

議事審議後、ご来賓のMJS九州沖縄圏統括部長の鈴木執行役員などから祝辞を頂きました。続



いて、エヌエヌ生命様より保険についての研修があり、総会は無事に終了しました。

総会終了後は同施設内にて懇親会が行われました。こちらも佐賀地区会の会員の方らしくお酒がよく進んでいたようです。

翌日、6月8日（土）は武雄ゴルフ倶楽部にて、ゴルフコンペが開催されました。優勝は、ドライバーで安定したショットをきれいなスイングで披露される桑原会員でした。ちなみに私は敢闘賞でした。（笑）

（佐賀地区会 柿原 剛人）

佐賀地区会

研修会「遺産分割を巡る税務（その1）」

近年最高の参加者

令和元年8月1日（木）グランデはがくれに於いて、MJS 税経システム研究所客員研究員の守田啓一



氏を講師にお迎えし、「遺産分割を巡る税務（その1）」をテーマとして研修会が開催されました。

令和元年度における佐賀地区会最初の研修会で通常の当会の参加者は30人前後ですが、今回は福岡地区からの参加もあり、50人を超す盛況な研修会となりました。

事業者の高齢化に伴い、事業継承が廃業かとい

う時代になってきましたが、関与先からの相続税申告の依頼も増えつつあるところです。

昨今の相続では、被相続人、相続人の高齢化や、被相続人が独身など、家族制度の変化、相続人の権利意識の変化等により遺産分割が複雑化、多様化、長期化している状況の中、会員の関心の高さが窺われました。

講師の説明は、実例を基に端的に説明され分かりやすい講義で、会員は熱心に聴講していました。

今回のテーマである「遺産分割を巡る税務（その1）」で、（その2）があると思いきや（その2）は現在執筆中とのことで、（その2）が完成すれば研修テーマとして期待するところです。

（佐賀地区会 馬渡 明）

大分地区会

定期総会・記念講演会・懇親会を開催

判例を交えながら詳しく解説

令和元年6月28日（金）、大分市のJ:COMホルトホール大分において九州ミロク会計人会大分地区会の第17回定期総会及び記念講演会が開催されました。

定期総会に先立ち税理士の藤井茂男先生（MJS税経システム研究所客員研究員）による記念講演会が行われました。藤井先生には毎年この時期に講演会をお願いしており、大分ではすっかりお馴染みの先生です。今年の講演テーマは「生命保険の契約と税務のポイント～個人・法人の契約から満期まで～」でした。

講演会では、まず、生命保険の目的、種類といった基本項目の確認を行い、続いて、個人契約と法人契約に分けて、それぞれにかかる課税上の問題点などについて判例を交えながら詳しく解説していただきました。生命保険といえば、法人向けの定期保険の税務上の取扱いについて、昨今過度な節税が問題視されており、実態に応じた法人税基本通達の見直しが必要であるとして、その改正が近々あるのではないかと非常に注目されていたため、その点においてもまさにタイムリーな講演会でした。（ちなみに、同通達の一部改正が講演会当日に公表されました）

講演会終了後、

引き続き午後5時00分から定期総会が開催されました。赤川治之大分地区会会長の挨拶の後、



同会長の議事進行のもと、早速議案審議に入りました。まず事務局より平成30年度の事業報告及び決算報告についての説明が行われ、会計監査報告を経て審議の結果、全会一致で承認可決されました。次に、平成31年度の事業計画案及び予算案について、こちらも事務局より提案があり、全会一致で承認可決されました。

議案審議終了後、来賓の方々からの祝辞と、九州ミロク会計人会本部から第44回全国統一研修会（函館大会）の紹介と案内が行われ、定期総会は無事終了しました。

定期総会の後は、恒例の懇親会が大分市千代町にある日本料理店「うを清」にて行われました。本日の講演会講師や来賓の方々、事務局も参加され、会場は地元の美味しい料理と飲み物とで大いに盛り上がりしました。

（大分地区会 泉 比呂志）

長崎地区会

第31回定期総会・懇親会を開催

令和で最初の総会、例年と変わらず和やかに開催



令和元年7月5日（金）ホテルセントヒル長崎に於いて「MJS データ入力研修会」に続き、長崎地区会の第31回定期総会が開催されました。

総会は雪澤知之会員の司会のもと、今村茂雄会長の挨拶に始まり、その後議長に松本信幸会員が選出され、平成30年度事業報告及び決算・監査報告、令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）についてそれぞれの説明があった後、審議が行われました。慎重審議の結果、全ての議案が承認さ

れ、議事は無事終了しました。

総会の終了間際に会長より令和2年度 MJS 全国統一研修会が熊本で開催されるとの告知、及び当年度10月に開催される函館大会へ長崎地区会から多く参加を頂きたい旨の依頼がありました。

総会終了後は同ホテルにて（株）日本政策金融公庫、（株）十八銀行、大同生命保険（株）、エヌエヌ生命保険（株）、MJS などご来賓の方々をお招きし、和やかな雰囲気の中、懇親会が開催されました。懇親会に集われた方々にとっては消費税改正、十八・親和の合併、生命保険の通達改定に伴う新商品の発売時期など比較的共通の懸案を抱えていることもあり、貴重な情報交換の場になったのではないのでしょうか。

ご多忙の中、ご出席いただきましたご来賓の皆様をはじめ、会員の皆様に深く感謝申し上げます。

（長崎地区会員 徳永 清己）

熊本地区会

研修会・定期総会・懇親会を開催

「イノベーション」・新時代へ

令和元年6月11日（火）KKR ホテル熊本において、熊本地区会の研修会、定期総会、懇親会を開催いたしました。

研修会は、MJS 税経システム研究所客員研究員の出縄良人氏をお迎えし「FinTech で広がる会計事務所の仕事」をテーマにご講義いただきました。「FinTech（フィンテック）」とは、金融（Finance）と技術（Technology）を組み合わせた造語で、金融サービスと情報技術を結び付けた革新的な動きを指し、身近な例では、スマートフォンを使った送金もその一つです。

講義においては、FinTech の領域に位置するサービスが多岐に渡ることで、個人から企業までの活用が急速に拡大していること、さらに、会計事務所に求められる専門サービス（第二次イノベーション）など、時代が秒進分歩で進んでいることを再認識できました。

定期総会は、MJS 常務執行役員 笠井健二氏、九州沖縄圏統括部長 鈴木和人氏及び副統括部長



高木紀彦氏を来賓にお迎えし、宮本律夫会長の挨拶に始まり、前年度の事業報告から新年度の事業計画・予算案に至るまで粛々と審議され、全会一致で承認可決されました。

最後の懇親会は、出席者の笑顔と楽しい会話が溢れる中、MJS 社員の皆様の個性光る自己紹介の場面が大注目。特に、ニューフェイスの方々の初々しくも頼もしい言葉に、令和の新しい風が吹き込まれたような爽やかな気持ちになり、本日は総じて「自分自身のイノベーションが必要だな」と感じる日となりました。

（熊本地区会 河上 侑子）

宮崎地区会 研修会及び宮崎地区会初の総会を開催

来年、再来年への足がかりに

宮崎地区会では、2019年7月16日（火）、宮崎駅前の Kiten において、研修会及び総会を開催しました。

まず初めに研修会を行い、「合併実務と申告書作成」というテーマで、講師に MJS 税経システム研究所客員研究員の棟田裕幸氏をお招きしてご講義頂きました。合併実務は特殊で、実務に精通している税理士は少ないのではないかと想像しますが、当日の研修は数値例を使った講義内容で大変分かりやすい研修でした。

研修会終了後に、総会を開催しました。宮崎地区会では、県北から県南までの距離がかなり離れており、総会を開催しても出席者が少ないのではないかと懸念もあって、長年に渡り、総会の開催が見送られてきましたが、この度の役員改選を機に、総会を開催してみようという結論に至り、



記念すべき「宮崎地区会初の総会開催」となりました。当日は、やはり、この地理上の問題からか、出席会員数は多くはありませんでしたが、今回、総会を開催したことに意義があり、これが、来年、再来年への足がかりになればと思った次第です。

研修会終了後は、場所を移動しての懇親会を開催し、美味しい料理やお酒に舌鼓を打ちながら、参加者全員でその日1日を振り返る有意義な時間となりました。

（宮崎地区会 鹿島 昇）

鹿児島地区会 鹿児島地区会総会を開催

熱気を帯びた総会

令和元年7月25日（木）にホテル・レクストン鹿児島に於いて、鹿児島地区会定期総会を開催しました。



当初は、7月4日（木）に3時間の認定研修との抱き合わせで開催を予定しておりましたが、7月に入ったころから「50年に1度」とやらの大雨が続き、前日には鹿児島市内全域の57万人に洪水・がけ崩れ警報の発令とともに避難指示がでるような状態でした。やむなく、順延としたものです。従来どおり、6月中に開催していれば、と悔やまれた次第でした。日程変更の影響もあって、会員の出席が少ない中ではありましたが、総会は熱気を帯びたものとなりました。

議案審議については、恒例により地区会長が議長を務め、予定された「平成30年度事業報告と決算報告・監査報告」、「令和元年度事業計画」など、すべての議案が滞りなく承認・可決されまし

たが、「令和元年度事業計画」の審議のなかで、「第44回全国統一研修会函館大会」及び来年開催予定の「熊本大会」の件について会員からの積極的な意見が发出されました。

（要旨は次のとおり）

平成21年11月5日に開催された「第34回全国統一研修会・九州大会 in 鹿児島」において底をついた当会の資金も、我慢に我慢を重ねてやり繰りしてきた結果、少しは活動資金らしいものとなってきたことから、

①「函館大会」への出席予定者に対しては、旅費の片道相当分の金額を補填することとする。

②「第34回全国統一研修会・九州大会 in 鹿児島」には、全国から1200名を超える参加があったが、九州ミロク会計人会各地区会を挙げての協力の賜物であった。久しぶりの九州開催、しかも隣県「熊本」での開催である。可能な限りの予算を組んで、一人でも多くの鹿児島地区会員が熊本大会に参加できるよう協力したい。

そして、懇親会。出席者が少なかった分、一人当たりの飲み量は多くなりました。

（鹿児島地区会 小川 廣之）

「親父、今度の休みは暇？」30歳になる我が家の次男は今でもたまに私を誘ってくれます。最近の定番は親子でのキャンプ。息子が小学校に入学した頃から始めたキャンプは中学を卒業する頃まで九州を中心に年2回程度の我が家の年間行事として楽しい思い出になっています。

中でも忘れられないのが、次男がまだ小学校低学年の頃に訪れた「久住高原オートビレッジ」で真夜中のトイレに付き合わされた時のこと。テントを出て、ふと見上げた空に輝く無数の星、こんな星空を見たことのない私たちは思わず大声をあげてテントの中で熟睡している妻と長男をたたき起こしたことを今でも思い出します。

そんな息子たちも成長しすっかり遠のい

息子との時間

◆北九州地区会
百衣智雄

ていたキャンプを再開したのは次男が就職し少し職場にも慣れてきた5～6年前。きっかけはやっぱり「親父、今度の休みは暇？」からでした。炭火で焼く香ばしい肉を食べながら酒を酌み交わし、成長した息子とのたわいのない会話。私の口癖は、「お前たちには何でも俺が教えてやった。キャンプもスキーもスケートも釣りも、ぜ～んぶ俺が教えてやったやろ」息子たち曰く「あれで教えてやったとは片腹痛し。自転車はいきなり補助輪を外して、まっすぐ向いて力いっぱいこげ～！スキーはいきなりリフトで頂上まで連れていかれて、ハの字で降りろ～！だけやったやろ」何故かキャンプの批判は出てこないような…今でも付き合ってくれる息子に感謝！感謝！

報告

第45回(2020年)全国統一研修会九州会担当大会について

令和元年9月2日(月)メルパルク熊本に於いて第45回全国統一研修会の第1回大会実行委員会が開催されました。大会実行委員会は、九州会正副会長・委員長・地区会長と熊本地区会の10名の会員を含む30名で構成されています。



【決定済事項と決定した事項】

- 日程：令和2年11月5日(木) 式典・基調講演・懇親会
11月6日(金) 親睦ゴルフ大会
11月6日(金)～8日(日) 記念旅行

- 会場：ホテル日航熊本
- 大会名称：『第45回全国統一研修会 熊本大会』
- 大会実行委員長：宮本 律夫(九州会副会長(兼)熊本地区会長)
副委員長：碓塚絵理子(研修担当)
中尾 好輝(懇親会担当)
畑野 和雄(ゴルフ担当)

*副委員長は熊本開催のため地元熊本地区会から選出されました。

- 親睦ゴルフ大会会場：熊本空港カントリークラブ
*大会構成・基調講演講師・記念旅行等につきましては継続審議となりました。

次回、第2回大会実行委員会は令和元年11月20日(水)に開催予定。

編集後記

今年の夏も暑かったですね。この時期に必ず聞かれるようになった挨拶。

しかし今年の夏は昨年ほど暑くなかったような気がします。そう感じるのは私だけでしょうか…。(年をとると暑さを感じないそうです)

夏といえば花火です。各地で花火大会が催されますが、一体花火の一発の値段でいくらぐらいなのでしょう。打ち上げて開花した時の直径が100mとなる3号玉で5000円、尺玉と言われ

る10号玉で10万円、開花が450mにもなる2尺玉で80万円ぐらいだそうです。

最近の花火大会の会場でいろんな名目で個人の提供で打ち上げられるのを見受けられるようになりました。皆様方も何かの記念日に花火をドカーンと打ち上げられたらいかがでしょうか。(例えば奥様に感謝してとか…)

(鹿児島地区会 四元 一右)



中小企業を、つなごう。

走りつづける中小企業に、応えつづけたい。

長く厳しい企業経営の道のりには、さまざまな困難が付き物です。

例えば、次の世代へタスキをつなぐ「承継問題」もその一つ。

エヌエヌ生命は、事業保険の力で、未来へ進む中小企業をサポートします。



NN

中小企業サポーター
エヌエヌ生命

お問い合わせはエヌエヌ生命の各営業部へ

福岡県・長崎県・佐賀県担当	福岡第一営業部	TEL092-734-6225
福岡県・大分県担当	福岡第二営業部	TEL092-734-6230
北九州市・山口県担当	北九州営業部	TEL093-285-3480
熊本県担当	熊本営業部	TEL096-323-8223
鹿児島県・宮崎県担当	鹿児島営業部	TEL099-225-7268